

日本ショーペンハウアー協会 第29回全国大会

2016年11月26日(土)、27日(日)
苫小牧工業高等専門学校(北海道)



1日目:11月26日(土)

研究発表(10:00~12:00)

1. 「意志の客体性(Objektivität)」とはなにか
—— 哲学方法論からみたObjektivität概念の布置 ——
太田匡洋(京都大学大学院)
司会: 齋藤智志(杏林大学)
2. 若きショーペンハウアーにおける「思慮」概念の形成
—— 「よりよき意識」から「意志の否定」へ ——
堤田泰成(上智大学大学院)
司会: 高橋陽一郎(日本大学)
3. ショーペンハウアー倫理学における共苦とはたんなる認識か?
—— 『意志と表象としての世界』正編と『倫理学の二つの根本問題』を
主な手がかりとして ——
吉田卓司(中央大学大学院)
司会: 白木悦生(大正大学)

クロス討論 I (13:20~15:20)

意志の否定と意志の自由 —— 板橋勇仁著『底無き意志の自由』をめぐって
提題者: 高橋陽一郎(日本大学)
レスポンドント: 板橋勇仁(立正大学)
司会: 長綱啓典(帝京大学)

クロス討論 II (15:30~17:30)

芸術としてのショーペンハウアー哲学 —— 高橋陽一郎著『芸術としての哲学』をめぐって
提題者: 板橋勇仁(立正大学)
レスポンドント: 高橋陽一郎(日本大学)
司会: 長綱啓典(帝京大学)

※大会参加費: 初日のみ1,000円。

2日目:11月27日(日)

ワークショップ(9:45~12:00)

ショーペンハウアー哲学における理論と実践
提題:
鎌田康男(関西学院大学名誉教授)
「超越論的観念論と経験的実在論との関係を中心に」
伊藤貴雄(創価大学)
「個体主義と普遍主義との関係を中心に」
司会: 竹内綱史(龍谷大学)

連絡先

日本ショーペンハウアー協会事務局
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
立正大学文学部哲学科 板橋勇仁研究室内
E-mail: office●schopenhauer.org
(●は@に変更してお送り下さい)
Homepage: <http://www.schopenhauer.org>
D-Fax: 020-4624-9462